



## 大福、元気でね



福田小のアイドル存在で、みんなから可愛がられていたウサギの大福が、一足早く卒業します。大福は、今の6年生が入学した年に学校に来て以来、子どもたちとともに6年間を過ごしてきました。大福が元気に成長できたのも、飼育委員会のメンバーや担当の穂積先生、そして学校のみんなが可愛がってくれたからだと思います。大福の愛くるしい姿を見るだけで、誰もが明るく幸せな気持ちになりました。

今月末の閉校を前に、PTAの高橋さんが大福を引き取ってくださることになり、3月3日（木曜日）、引き渡しの会を行いました。企画したのは、心を込めて大福の世話を続けてきた飼育委員会のみんなです。放送で呼びかけたところ、大福にお別れをしたいという子どもたちがたくさん集まりました。みんなに囲まれて大福も何だか嬉しそうでした。

これまでの大福との思い出は、子どもたちの心に刻まれていくことでしょう。みんなのアイドル「福田大福」は、6年間の課程を修了し、めでたく卒業です。

これからも、大福は高橋さんの所で、元気で暮らしていきます。早く引き取ってくださった高橋さんに感謝申し上げます。大福をよろしく願います。



## 【「書」のプレゼント】

3月2日（水曜日）。元本校校長の丹治先生から、6年生全員に「書」のプレゼントがありました。色紙には、「望」「飛翔」「至誠」「大志」など、丹治先生からの力強い文字で書かれたメッセージが入っていました。また、裏面には一人一人に温かい言葉も添えられていました。



丹治先生は、「最後に勤務した学校が福田小なので、福田地区の子どもたちには思い入れがあります。（これからの人生を、大きな望みをもって、がんばって行ってほしい）」という思いで書きました」と優しい眼差しで話されていました。

温かい気持ちが込められた色紙を受け取った6年生は、春からの新しいステージに思いをはせているようでした。もうすぐ、夢と希望を胸に中学校へ進学です。

## 【スクール・サポート・スタッフのお仕事、ありがとうございました】

2月28日（月曜日）で、スクール・サポート・スタッフの和子さんの勤務が終了しました。4月から今まで、感染症を予防するための消毒作業を中心に、学校内のサポートを一生懸命に行ってくださいました。和子さんのおかげで、感染症対策が強化され、子どもたちの健康や安全を確保することができました。また、印刷業務などにも率先して尽力いただき、教職員が子どもたちに関わる時間が確保されました。

みんなのために、一生懸命に活動してくださった和子さんに、子どもたちは、感謝の気持ちを伝えました。子どもたちの温かいメッセージに、和子さんの目には光るものがありました。

子どもたちの健やかな成長のために、1年間、お力添えをいただき、ありがとうございました。

